

# すずか税のたより

第127号  
平成25年11月発行

「すずか税のたより」は鈴鹿税務連絡協議会のホームページに掲載しています。

## 主催

鈴鹿納税貯蓄組合連合会(習字・作文)  
公益社団法人鈴鹿法人会(絵はがき)  
鈴鹿間税会(標語)  
鈴鹿税務署(作文)

## 小学生の 絵はがきコンクール

鈴鹿税務署長賞



鈴鹿市立栄小学校

6年 樋口 凜

平成25年度  
応募状況

|      |        |
|------|--------|
| 作文   | 257編   |
| 習字   | 1,608点 |
| 絵はがき | 362点   |
| 標語   | 2,685点 |

## 小学生の 税に関する習字

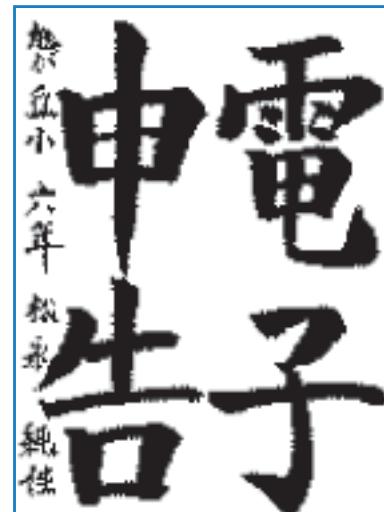
三重県知事賞

税金は 国を守れる ま法だよ

鈴鹿税務署長賞

## 中学生の 税 の 標 語

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 1年 濱口 歩乃果



鈴鹿市立旭が丘小学校  
6年 松永 純佳

鈴鹿税務署長賞



亀山市立亀山東小学校  
5年 藤井 結菜

# 中学生の税についての作文

## 税について

鈴鹿市立大木中学校

卷之二

現在中学二年生の私にどこで「税」とは一体どのようなものであろうか。私がそうであるように、多くの若者が「税」と言わせてまず思い浮かべるのが消費税ではないだろうか。

始めたのは小学生の頃である。私の家の近所には百円ショップがあり、よくそこで文房具などを買っていた。例えばノートを一冊買うとしよう。その時にそこが百円ショップであるはずなのに実際に私が払ったのは百五円であったのだ。この時に私は小学生ながらに疑問を抱いた。「体この五円は何なのだろう?」と。家に帰つて母にその話をしたところ、それが消費税というものであると知ったのだが自分がノートや赤ペンを買うたびにその

買った物の5%のお金が、私たちの国のため、あるいは私たちのために使われていると知つてから、買い物をするたびに少しいことをしたような気分にもなつたしかし、ここで忘れてはならないのが、その物を買うときに支払ったお金は親や祖父母からもらつたおこづかいであると  
いうことだ。未成年でまだ義務教育下にある私にとっての仕事は学校へ行つて勉強をすることであるから、まだ自分のお

金で税を納めることはできないのだ。そう考えたときに、今の私の暮らしが成り立っているのは毎日家族のために働いてくれる父、それを支えようとパートをしている母、おこづかいをたまにくれる祖父母のおかげであることが身に染みてよく分かった。今は働くことができないのとで家族におんぶにだっここの状態ではあるが、将来私が大人になって働くようになったときにはきちんと納税したいと強く思った。

もちろん税というのは消費税だけではない。私たちが日本というこの国で暮らしている以上、より人々が暮らしやすい国を作っていく上で納税は必要不可欠な行為であるはずだ。最近、テレビのニュースで税金の無駄遣いといつことがよく取り上げられているのを見かける。このようなニュースを目にすると私はとても悲しい気分になる。自分の父母が汗水流して働いて稼いだお金が無駄遣いされているということが許せないのだ。だからといって税金を払わなくていいのかというと、それは違うと私は思う。税金は確かに無駄遣いされていることもあるかもしれないが、きっと有効に使われている税金もたくさんあるはずだ。そのよい例が三重県鳥羽市で行われている子育て支援制度だ。これは2人目の子供の保育費を免除することができたり、子供の医療費が免除されたりといったものだ。このようにして有効活用されている税金はもつとスポットが当たればよいのになあと私は思い、またこういった上手な税金の活用の仕方を日本はこれからしていくべきだと強く感じた。

税金の役割

亀山市立中部中学校  
3年一四〇

皆さん、「税金は何か」と聞かれた  
ら何と答えますか。私は、この作文に  
取り組むまで、税金がどのように使わ  
れていて、それが社会の中でどのように  
な役割を果しているのか、全く知りま  
せんでした。

わらず、税金を払わない人がいるそうですね。このような人が増加すればどうなるのでしょうか。税金が集まらないと、公共サービスができなくなってしまいます。例えば、水道から水が出なくなったり、あちらこちらにゴミの山ができたり、犯罪が起きても警察は助けに来てくれなくなるのではないかでしようか。このようない社会は誰も望んでいないはずです。税金は、社会で生活するうえで最低限納めなければならないものなのです。

また、税金は、富の再分配としての側面も持っています。これは、高所得者から多く税金を徴収しこれを経済的に弱い立場の人への給付金などにあてるものです。生まれたときから障がいを持つている人や病気で働くことができない人は、生活費を自分で稼ぐことができず、税金を納めることもできません。よって、財産を多く持つ人や健康でお金を稼ぐことができる人から、それぞれの支払い能力に応じた税金を集め、誰もが人間らしい生活を営むことができるよう助け合うことが必要なのです。

税金とは、私たちが社会で生活していくなかで不可欠なものです。国や都道府県、市町村という公共団体は、そこに暮らす人々のために様々な仕事を行っています。まず、国は、社会秩序を守るために法律をつくつたり、外国からの侵略を防いだりします。また、都道府県では警察を置いて治安を守つたり、広域に整備する必要がある道路や施設の建設などを行つたりしています。さらに、市町村では、地域住民に直接かかわる上下水道などの生活基盤の整備やゴミの処理、消防や救急サービスを行つてています。これららの国や公共団体が行う仕事を維持していくために多くの費用が必要になり、その費用をみんなで話し合い負担しているのが税金なのです。

先日、私は新聞で税金の滞納が増加しているという記事を見ました。生活が苦しくて払うことができないのは分かりますが、裕福な生活をしているにもかか

## 鈴鹿税務推進協議会長賞

### 身近な税金

亀山市立中部中学校  
3年 板垣 朱莉

### よりかずすたの税金

「税」と聞けばいつも思いつくのは消費税でしたが、ほとんどイメージがわきませんでした。しかし、一つはつきりと認識していたのは、学校で使う教科書の裏面に「この教科書は、これから日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書いてあることです。一方で、ワークは集金があつたので、税金ではないのです。

先日我が家でボイラーが故障してしまったため、家族全員で市の保健福祉施設、「あいあい」にある「白鳥の湯」を利用しました。露天風呂がついていて気持ちよくて、近隣の温泉よりずっと利用料金が安いのです。母が「市営だから、税金が使われているのよ」と言つていました。

昨年私は職場体験で亀山市立歴史博物館にお世話になりました。亀山城多門櫓の木材に記された文字を読み取るお手伝いをしましたが、市の広報を見たら、城の大修理に七千八百万円という大金がかかっていたこと、その内

「税」と聞けばいつも思いつくのは消費税でしたが、ほとんどイメージがわきませんでした。しかし、一つはつきりと認識していたのは、学校で使う

教科書の裏面に「この教科書は、これから日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書いてあることです。一方で、ワークは集金があつたので、税金ではないのです。

先日我が家でボイラーが故障してし

まつたため、家族全員で市の保健福祉施設、「あいあい」にある「白鳥の湯」

を利用しました。露天風呂がついてい

て気持ちよくて、近隣の温泉よりずっと

利用料金が安いのです。母が「市営

だから、税金が使われているのよ」と

言つしていました。

昨年私は職場体験で亀山市立歴史博物館にお世話になりました。亀山城多門櫓の木材に記された文字を読み取るお手伝いをしましたが、市の広報を見たら、城の大修理に七千八百万円とい

う大金がかかっていたこと、その内

半分は国が負担していたことを知りました。こうした歴史遺産を調査し、修復して後世に伝えていくのにも税金が使われていたと知つて、税金が急に身近になつた気がしました。

私が利用した、市の図書館などの公共施設、市の無料の催しなども税金で行われているのです。では身近で納められている税金を調べたら、所得税、住民税、酒税、ガソリン税などがあることが分かりました。

また、使いたい税金と使いたくない税金にも気付きました。原発にも多額の資金が投入されていると聞きます。でも私は、もっと自然エネルギーの開発、改良や実用化にそういうた資金を使つてほしいです。

私は今年から学校で公民を習いはじめましたが、公民を通して身近なことを学んでいるとよく分かりました。税金の使い道を決めるのは議会で、私たちにできるのは立候補または投票するということなのです。せつかく、国民の暮らしが決める権利が国民にあるのならば、その権利を使うべきだと思いません。私はまだ十四歳で、あと六年しないと選挙権はないけれど、選挙ができる年になつたら、自分の意志で、議員を選びます。私は、自分たちのこ

れからのことを、自分たちできちんと決められる大人になりたいです。

## 鈴鹿税務連絡協議会長賞

### 税金の未来

亀山市立中部中学校  
3年 伊藤 天音

私は税金と言われると、商品を買った時に支払う消費税としか思いつきませんでした。税金の作文を書くにあたり、両親に税金のことについて聞いてみました。うちの父は自営業者です。所得税・消費税・個人事業税などたくさんの税金を払っているということを聞かされました。私は父がこんなに税金を払っているということを今まで知らなかつたので聞いたとき驚きました。父の話を聞くと、所得が増えるとさらに税金をたくさん支払わなければいけなくなるのでいつまでたっても生活は豊かにならざるを得ません。なぜならなんて、「何のために仕事をしているのだろう。」と正直思いました。でもその税金でいろんな人を助けているともうとも知りました。公共事業—学校—医療とまだまだたくさんの方でみんなの税金は活用されています。働いて納めていただいたお金で安心した暮らしをさせてもらえていると本當にありがたいことです。そんな中「生活保護不正受給」というニュースをよく聞きます。働けずに生活しようとする若者が増えています。そういう人には税金から出ている大切なお金を支給してほしくないと私は思いま

す。働けず生活が苦しい人や障害で働けずにいる人もいっぱいいます。働けるのに働かないのと働きたいのに働けないので結局は税金の無駄遣いです。一人一人が自分も税金でまかなわないとけないので結構多く増やさなければ不正は見破れないと思います。でもその不正を確かめる人には支給されていないかを確かめる人をたくさん増やすなければ不正は見破れない

と思います。でも将来働くようになって税金を支給されることは、老人の方を支給する立場になつたら無駄なことに使わざつ困った人を助けるために使ってほしいです。私も将来働くようになって税金を支給される立場を考へ、甘えないとほしいです。私も将来働くようになって税金を支給される立場になつたら無駄なことに使わざつ困った人を助けるために使ってほしいです。将来、私が大人になれば老人の方が増え、若い人の税金だけで老人の方を支給する立場になつたときに、私は税金を払うのでしょうか。私は税金の事を全く知りませんでしたが、こんなにも大きな問題をかかえていて私にとってもすごく身じかなんだということを改めて気づかされました。みんなが働いて支払ってくれた税金のおかげで、私達は勉強をさせてもらひ安心に暮らしてきたのだから、恩返しではありません。みんなが老人から子供へと世代世代につないでいかなければならぬと思います。例えればリレーのようなものだと私は思います。誰もが不自由なく暮せるそんな国をつくるのはけつして簡単なことではありませんが、「自分ができることをまずやる!」ということから一人一人が心がけるべきなんだと強く感じます。

# 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

## 税について

亀山市立関中学校  
3年 蔵城 映里奈

私はこの作文を書くために税金について調べてみました。調べてみてわかったことは、税金には所得税、酒税などたくさん種類があることです。そして、これらは国に納める国税と都道府県に納める地方税とに分けられています。国税には所得税や法人税など、地方税には都道府県民税や市町村民税などがあります。

また、所得税や住民税は納める人の収入によって税率を決めており、公平に課税されています。このようなことを調べていくうちに、これららの税金はどのように使われているのか気になつたので調べてみました。

まず、私たちに今一番身近なのは教育です。国はこれに歳出全体の約8%、地方財政では約20%も使っているそうです。中学生1人になると年間九十万円になります。私は今まで税金を身近に感じたことはなかつたけれどこういうところで私たちを支えてくれていたことに驚きました。

次に、歳出全体の約10%を占めているのが公共事業関係費です。道路をはじめ上下水道や公園などの公共施設はこれによつてできています。

そして、歳出の中で25%と大きな割合を占めているのが社会保障費です。現在、日本は高齢化が進んでいます。

その問題の1つに、社会保障の費用が増えていくということ、費用を負担する働き手が減つているということがあります。2000年には、65歳以上の高齢者1人を36人で支えていたのに対し、2040年には16人で支えることになるそうです。福祉先進国のスウェーデンでは毎年、福祉関係の予算が、政治予算の50%を超えているそうです。そ

のこわり、労働者は給料の約半分を税金として納め、国民負担率は約70%に達するそうです。しかし、日本では税金を払つても将来の心配をしなければならないのに対し、スウェーデンではこれらを払えば将来は安心できるのです。どちらとも税金の使い方はちがつて、どちらがいいとは分からなければ、私はやっぱり税金はより良い使い方をされるのが1番だと思います。

この作文を書く中で、私の身近にも税金にかかるものがたくさんあること、私たちが豊かに生活していくには税金は欠かせないことが分かりました。

また、私もいつかは納めなくてはいけないから、まだ関係ないのでなくてこれが1番良いのか、などきちんと考えてみるきっかけになりました。そして、税金はみんな平等でみんなの生活をより豊かにしてくれるものであつてほしいと思いました。

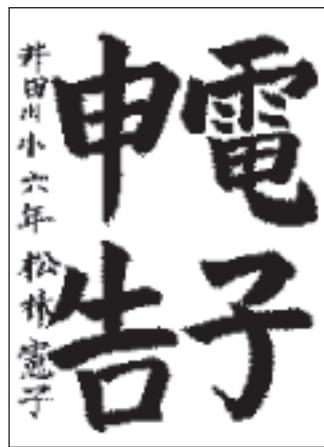
## 中学生の税についての作文入選者

(敬称略)

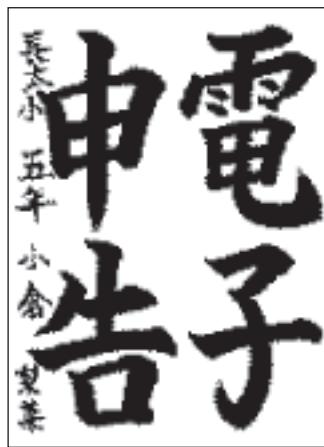
| 佳作        |           | 銅賞        |           | 銀賞        |           | 金賞        |           | 賞区分       |           | 学 校 名         |             | 学年        | 氏名 |       |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------------|-----------|----|-------|
|           |           |           |           |           |           |           |           |           |           | 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞 | 鈴鹿税務連絡協議会長賞 | 鈴鹿税務署長賞   |    |       |
| 亀山市立亀山中学校 | 鈴鹿市立大木中学校 | 鈴鹿市立大木中学校 | 鈴鹿市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 亀山市立中部中学校 | 鈴鹿市立大木中学校     | 鈴鹿市立中部中学校   | 鈴鹿市立中部中学校 | 3  | 板垣 朱莉 |
| 2         | 2         | 2         | 2         | 3         | 2         | 3         | 3         | 2         | 3         | 3             | 3           | 3         | 2  | 古川 真優 |
| 磯本 春乃     | 林 みらい     | 針尾 誠      | 中川 実咲     | 宮川 真衣     | 杉野 美琴     | 内田 大賀     | 北澤 彩英     | 磯部 汐里     | 原 立吉      | 伊藤 天音         | 藏城 映里奈      | 伊藤 天音     | 2  | 楯川 二葉 |



鈴鹿納稅貯蓄組合連合会長賞



鈴鹿税務連絡協議会長賞

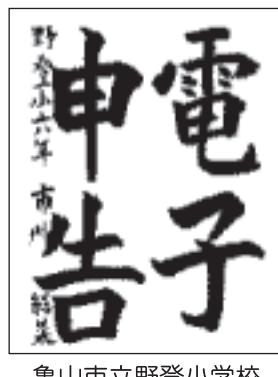
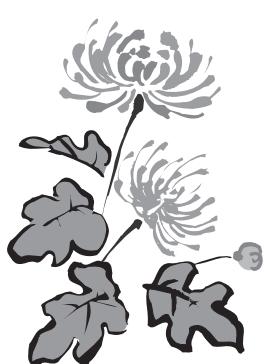


鈴鹿税務推進協議会長賞

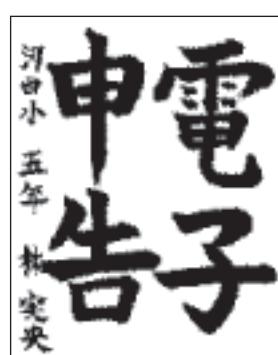
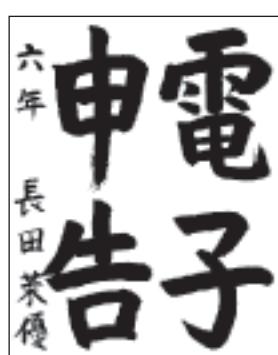
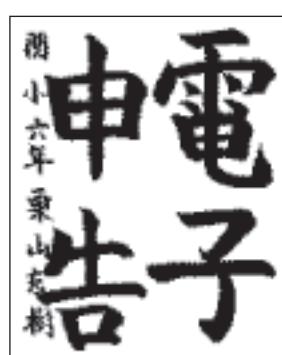
小学生の税に関する習字



金賞



銅賞



佳作

## 中学生の税の標語

**鈴鹿税務推進協議会長賞**

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 岡田 紗梨菜

**消費税** 私にできる 社会貢献

**鈴鹿税務連絡協議会長賞**

亀山市立関中学校 1年 松田 季良々

**幸せと みんなの笑顔を 税金で**

**三重県間税会連合会長賞**

鈴鹿市立創徳中学校 1年 安田 あおい

**税金があるから守れる この環境**

**税金は みんなの笑顔を 咲かす種**

**鈴鹿間税会長賞**

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 川端 佑歩

すずか税のたより

### 銅賞

**税金は 影でみんなを 支えてる**

亀山市立中部中学校 1年 西口 鈴菜

**教科書は 税金で買った 宝物**

鈴鹿市立大木中学校 1年 西口 史華

**税金で 笑顔をあふれる 町になる**

鈴鹿市立白子中学校 1年 大平 真碧

### 銀賞

**私達の 未来を切りひらく 消費税**

亀山市立関中学校 1年 北崎 沙弥

**思いやり 福祉に生かす 消費税**

鈴鹿市立白子中学校 1年 古田島 晴香

**納税で 豊かなくらし 良い未来**

亀山市立関中学校 1年 丸本 美佳

**世の中の 笑顔のための 消費税**

鈴鹿市立天栄中学校 1年 出口 来実

**国のために 国民のために 税はしっかりはらいましょ**

鈴鹿市立神戸中学校 1年 伊藤 優希

**税金は 平和な社会の 第一步**

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 田鍋 結

### 佳作

**何のため 日本のための 消費税**

亀山市立亀山中学校 1年 服部 恵

**税金で つくる未来は 宝物**

享栄学園鈴鹿中学校 1年 辻井 優奈

**消費税 人を救える 第一步**

鈴鹿市立大木中学校 1年 藤原 まこ

**税金は 平和な暮らしが築く 第一步**

鈴鹿市立千代崎中学校 1年 清水 聖菜

**税金は 輝く未来の 糧となる**

亀山市立中部中学校 1年 大野 純奈

## 小学生の絵はがきコンクール



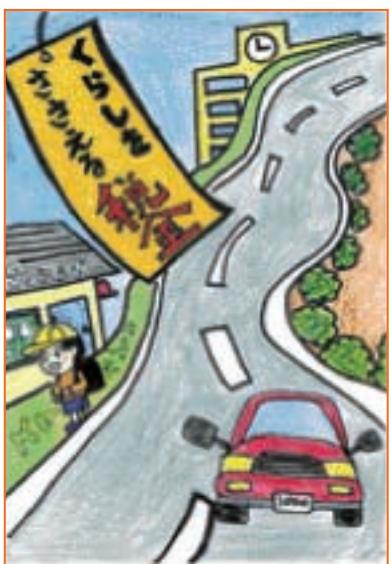
鈴鹿市立稻生小学校  
5年 樋口 奈緒

鈴鹿税務連絡協議会長賞



鈴鹿市立国府小学校  
6年 尾崎 夏菜

鈴鹿税務推進協議会長賞



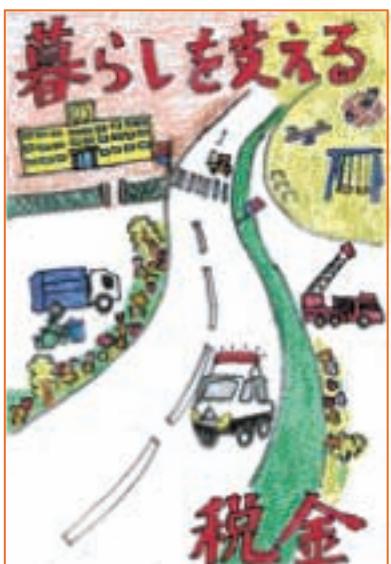
鈴鹿市立飯野小学校  
4年 上長野 優輝

公益社団法人鈴鹿法人会女性部会長賞



鈴鹿市立旭が丘小学校  
5年 島 亜美

公益社団法人鈴鹿法人会長賞



鈴鹿市立愛宕小学校  
6年 伊藤慎一郎



龟山市立上生小学校  
4年 藤本 彩花

金賞

## 小学生の 絵はがきコンクール

銀賞



鈴鹿市立若松小学校  
4年 平子 豊生啓



龜山市立川崎小学校  
4年 辻 大陽

鈴鹿市立飯野小学校  
5年 中島 ゆきな

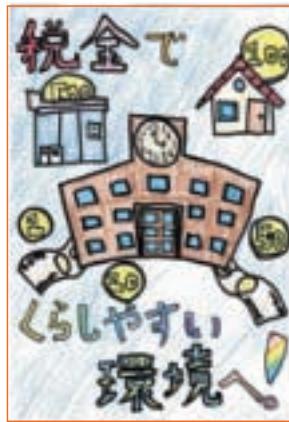


鈴鹿市立箕田小学校  
5年 南部 杏実



鈴鹿市立牧田小学校  
5年 内山 由捺

亀山市立昼生小学校  
4年 宮村 仁史希



亀山市立川崎小学校  
5年 原 朱里



亀山市立白川小学校  
4年 奥田 稔良



亀山市立亀山西小学校  
4年 鈴木 麻未